

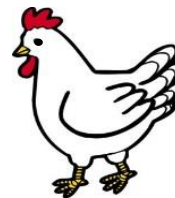


## 中国、台湾で高病原性鳥インフルエンザが 継続発生しています

本年8月25日、中国で**高病原性鳥インフルエンザ(H5N6)**が発生しました。2015年1月以降、中国における高病原性鳥インフルエンザの発生は、本件を含め22件となり、同期間における台湾での発生は、917件にのぼります。

このように、中国、台湾で高病原性鳥インフルエンザが継続して発生しています。これから渡り鳥飛来シーズンを迎えるにあたり、以下の点に特に留意し、飼養衛生管理基準に従い、本病ウイルスの侵入防止対策を行ってください。

- ① **渡り鳥飛来地付近には立ち入らない**
- ② 鶏舎入口での衣服・靴底の**消毒の徹底**
- ③ **防鳥ネットの再点検と速やかな補修**



### 飼養衛生管理基準を守るための要点

- 1 家さんの**健康観察**：異状があった場合は直ちに**家保・獣医師に通報**する。
- 2 **手指、靴の消毒**を鶏舎毎に励行し、**関係者以外立入禁止**にする。
- 3 **防鳥ネット（網目は2cm以下）**を確認し、もし破れ等があったら補修する。
- 4 **飲用に適した水**を給与する。
- 5 **鶏舎、器具の清掃、消毒**を徹底する。
- 6 **衛生管理区域に立ち入った者等に関する記録**を作成する。  
(→当所から配布した立入記入台帳をご活用ください。)
- 7 伝染病の発生予防に関する**最新の情報**を把握する。

<環境省ホームページ：高病原性鳥インフルエンザに関する情報>

URL [http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

<農林水産省ホームページ：鳥インフルエンザに関する情報>

URL <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

**家きんに異状が見られたら直ちに  
青森家畜保健衛生所にご連絡ください**

**電話：017-764-1744**

**夜間・休日：090-2274-0474**

**下記の症状を呈している家きんを発見**した場合、  
ただちに家畜保健衛生所まで連絡してください。  
毎日の観察を行い、発見の際は速やかに当所に通報してください。

● 高病原性鳥インフルエンザの『特定症状』

1. 同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が過去21日間における平均の家きんの死亡率の2倍以上となること。

※ただし、設備の故障、急激な気温の変化、火災、風水被害等の事情によるものであることが明らかな場合、この限りでない。

⇒**当所で確認しますので、必ずその都度連絡してください。**

2. 特定の検査で A型鳥インフルエンザウイルスの抗原又はA型インフルエンザウイルスに対する抗体が確認されること。

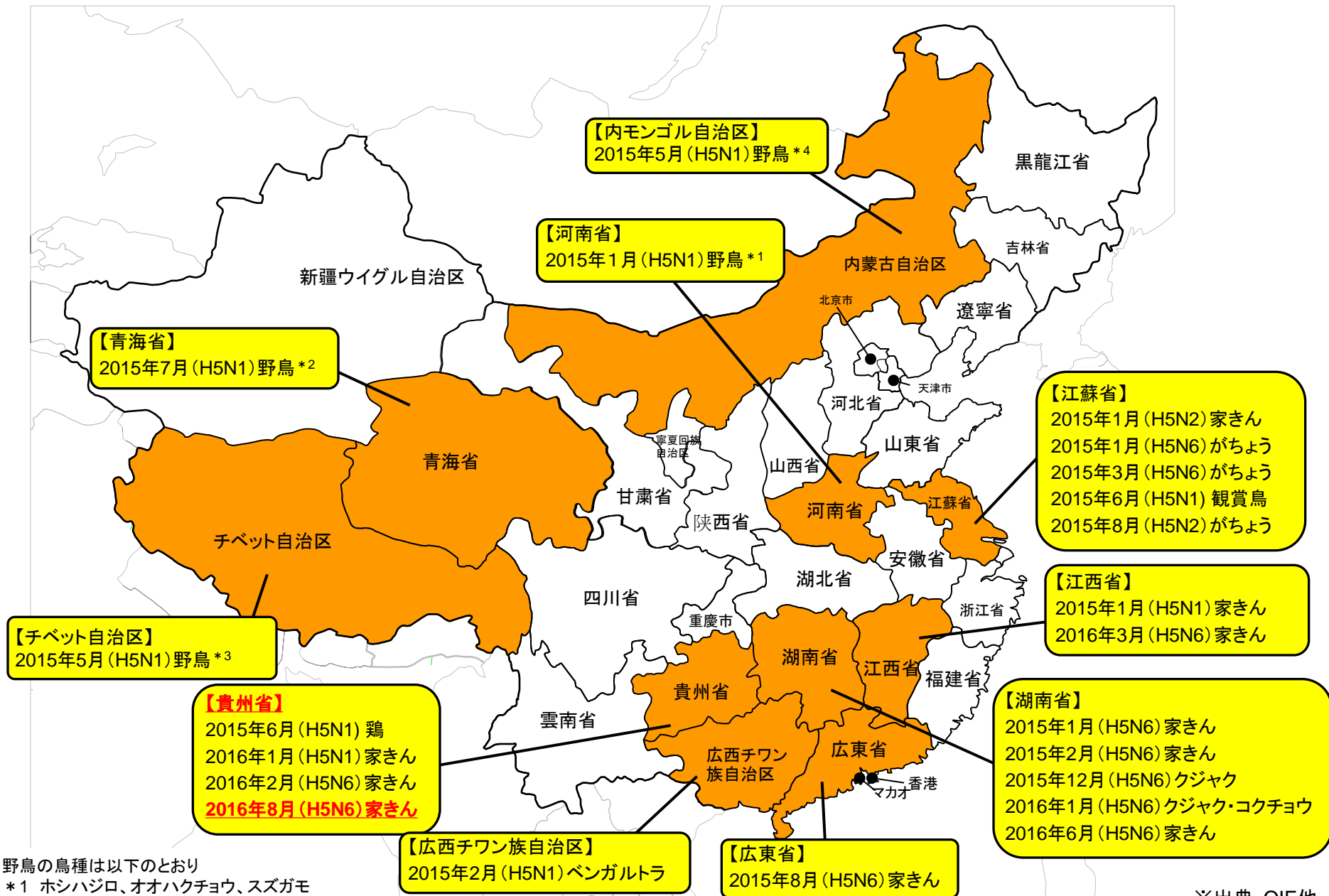
～**特定症状のほか、このような場合にはすぐに通報を～**

- ▼急激に死亡数が増えた(症状を示さず死亡する場合がある)
- ▼5羽以上がまとまって死亡している、またはうずくまっている
- ▼とさかや肉垂が暗青色になった
- ▼嗜眠、沈うつ状態
- ▼急激な産卵率の低下



図：鳥インフルエンザを疑う症状(嗜眠、とさかの腫れ等)を示す鶏

# 中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2015年1月～)



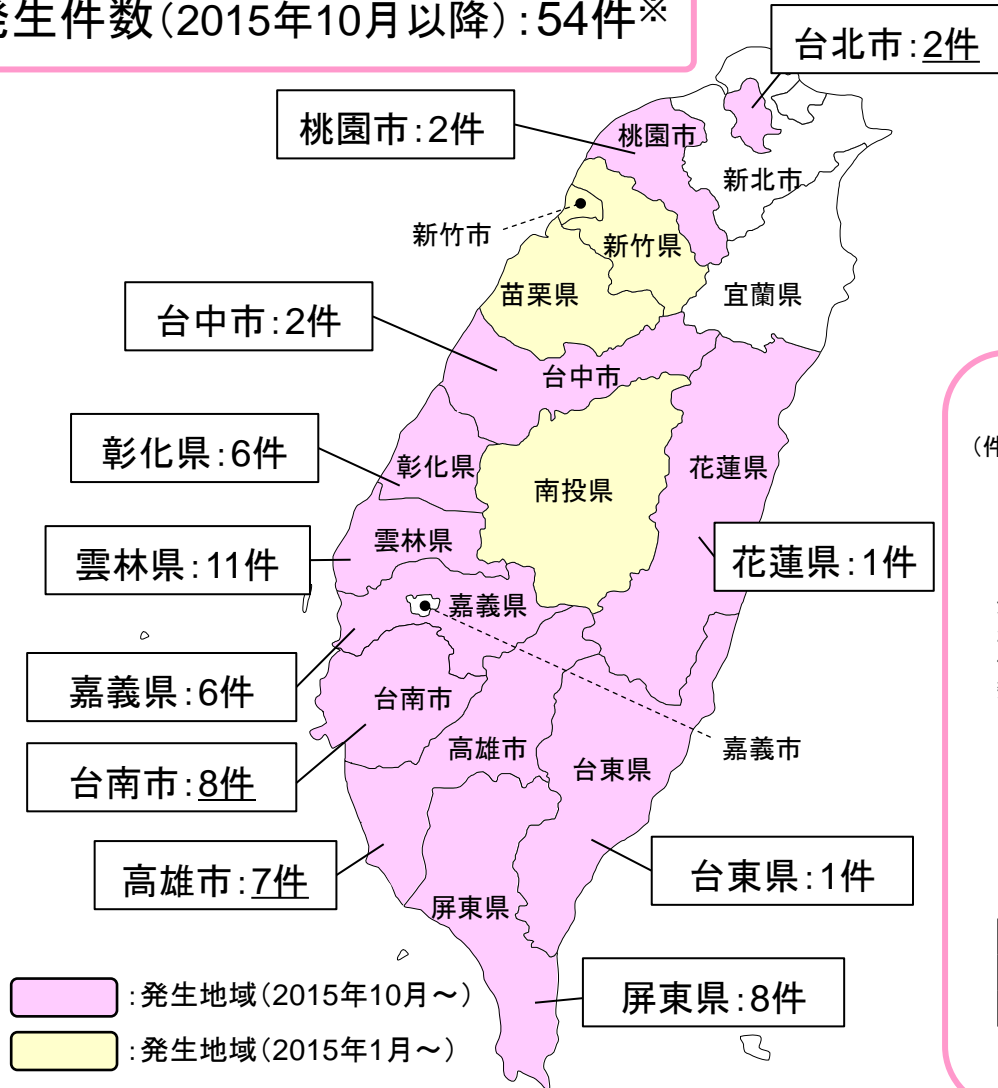
野鳥の鳥種は以下のとおり  
 \*1 ホシハジロ、オオハクチョウ、スズガモ  
 \*2 オオズグロカモメ  
 \*3 インドガン  
 \*4 ハジロカイツブリ

※出典: OIE他

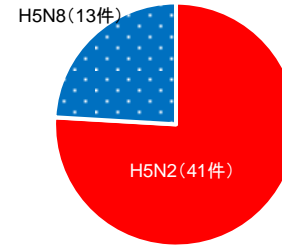
2016年8月31日現在

# 台湾の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況

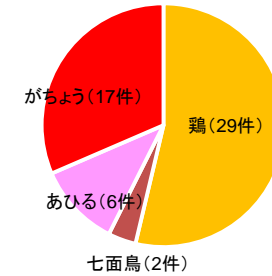
発生件数(2015年10月以降): 54件※



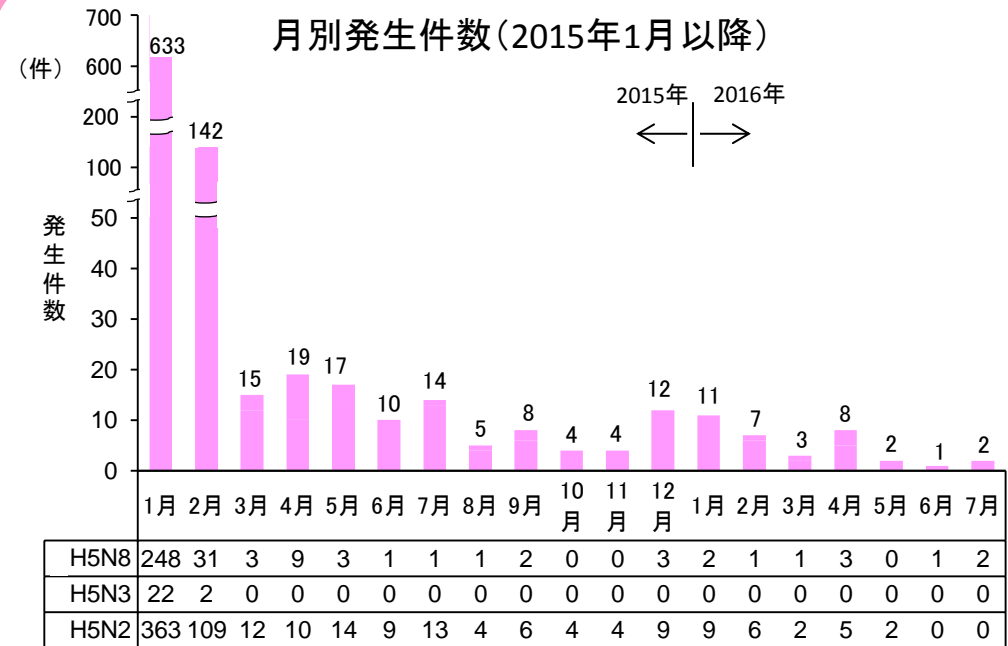
血清亜型別



家きん種別



月別発生件数(2015年1月以降)



・2015年1月以降、韓国で分離されたH5N8亜型ウイルスと近縁のHA遺伝子(H5)を有するウイルス(3種類の亜型)が流行。

※ OIEに報告された発生件数。なお、台湾当局発表の発生件数は、N亜型が未確定のウイルスによる発生等も含まれているため、本件数と一致しない。  
このほか、台湾当局発表情報(2015年12月28日時点)では、新北市において発生が確認されている。

出典: OIE、台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局

2016年7月24日現在